

(様式第4号)

第4回真田地区有線放送電話審議会 会議概要

1 審議会名	第4回真田地区有線放送電話審議会
2 日時	令和元年11月7日(木) 午後7時00分から午後8時28分まで
3 会場	真田地域自治センター2階 多目的ルーム
4 出席者	倉寫幸雄会長、三井厚子副会長、大久保秀子委員、大塚昌幸委員、神田學委員、町田洋子委員、柳澤治男委員、小野塚幸絵委員、小林裕子議員
5 市側出席者	山崎センター長、塚田地域振興課長、渡辺有線放送担当係長、三井主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月19日

協議事項等

1 開会
2 会長あいさつ
3 真田地域自治センター長あいさつ
4 協議事項
(1) 有線放送電話設備の更新について (事務局) 「有線放送電話設備の更新について」資料説明 「有線放送設備更新の見積結果 別紙1」資料説明 「平成30年度上田市真田有線放送電話事業会計決算書」資料説明 「真田有線放送電話事業 決算及び今後の収支推計(放送)月額1,500円」資料説明
(会長) 更新にかかる投資費用が適当であるのか、設備を更新して放送のみにした場合に将来推計のとおりに入会者が維持できるのか、質問や意見をお願いしたい。
(委員) 今回の台風で有線の価値が再認識できた。停電で情報がラジオしかない中、有線が貴重だった。月1,500円の料金は高いのかわからないが、放送だけでも続けてもらいたい。設備更新の見積もりは細かくてわからないが、A社が今の有線放送に近いカタチならばA社が良いのでは。
(委員) 更新を令和2年にやらなければいけないのか、もう少し先に延ばせないのか説明がほしい。1億4,000万円の見積もりが出ているが、更新に必要なならばしかたないが、市の助成金などはないのか。電話機能は続けることが難しくても放送は続けてもらいたい。昔からの住人には、ページング放送はいろんな面で必要である。
(事務局) A・Bの2社の見積を提示したが、A社の見積は現在の有線システムに近い。だが、それを作る技術者が高齢化しているため、設備を更新するのであれば、最低5年間ほどは保守やトラブルに対応するのが納入側の責任であるので、来年、更新しない場合は、技術者の年齢的に引き受けることはできないと言われている。B社の見積は全くシステムは違うが、機能としては同じものを提供してもらえる。こちらの場合は、来年更新しなくても先延ばしが可能である。 また、市からの補助は難しい。
(委員) スマホなどで情報が取り入れられない方々に情報を提供するためには、有線放送を更新する必要がある。ページング放送のみでは大変だと思うが、番組の充実を図れば維持は可能だと思う。更新にかかる費用は適当なのではないか。
(委員) 今回の台風の際は避難のことなど有線放送を聴いていたので、放送は必要なのではないかと思う。放送で情報を得たり、お悔み放送をよく聴いている。加入者の維持は、

実際に放送機能のみでやってみないとわからない。更新費用については相場がわからないが、更新しなければいけないのなら必要な費用なのではないか。

(委員) 有線が故障していたが台風前日に直してもらい、有線で情報が得られたので大事だと思った。災害のことを考えると、全戸にあった方良い。強制加入は難しいが、そのような形になれば件数の減少などなくなる。防災無線のある地域もあるので有線をもっと活用してもらいたい。

(委員) 有線放送は維持してもらいたいが加入者数は少ないので、町全体で共有できる放送ができないか。防災のことを考えると全戸加入が理想である。更新については、全く違うシステムの B 社の方が安心なのではないかと思う。

(委員) 見積結果だけで見ると B 社の方が良いと思うが、有線放送という考えを捨てて防災無線という考えの方が良いのではないか。自治会内に有線電話も固定電話もなく携帯電話のみという方が何軒もある。

(委員) 今回の台風では、防災無線のような設備が全戸にあった方が良く痛感した。有線設備更新に多額なお金がかかり、加入者の使用料で将来的に運営していかなくは積立金が減少する。積立金を新しい防災無線のような設備に使えるのではないか。将来的に維持できるのであれば更新しても良いとは思う。

(会長) 今回の台風では有線放送の役割は大きかったという意見が出ているが、有線ではなく、防災無線やオフトークなどのシステムを構築すべきとの意見もあるが、それらは地域協議会などで協議してもらおうことで、当審議会では今後の有線放送をどうするのか考えていただきたい。

積立金のうち撤去費用として 7000 万円取っておくとして、積立金の中で更新はできるが、加入者が減少せず維持できるのか。有線を一旦やめても、積立金を真田地域の防災のためにとっておき、地域協議会などで協議して、災害時の伝達手段の構築費用として使っていけばどうか。積立金は将来の防災用として使ったらいいのではないかと思う。

(事務局) 全戸に有線を導入できないかという点ですが、現在有線はいただいている料金の中で全てまかなえている状態で企業会計として運営している。防災無線は、市が全戸に提供すべきもので、それは企業会計で行うのではなく、市の一般会計で行うもので、別に考える必要がある。お金をいただいて利用者のお金で運営するのが企業会計なので会社に近い形態である。東御市は全戸にラジオを配布している。坂城町は屋外にスピーカーがあり防災無線が流れる。お金はいただいてない形態である。全戸に配布するというのは企業会計とは別になる。有線という形態で全戸をカバーするのは無理である。武石地域の現在のシステムは無線を使ったもので、有線は真田地域全域に電柱と電線があり保守費用が非常にかかる。今の技術で考えると無線の方が費用を抑えられ、放送を流すだけなら同じようなことができる。それは全戸対象になっていくべきものである。坂城町は有線をやめて防災無線に切り替えた。

有線の積立金を取り崩して、有線設備の更新をする方が良いのか。真田地域の将来の防災情報伝達手段に充てる基金として残す方が良いのではないか。更新にかかる投資費用が適当であるかという検討事項は、見積が妥当かという意味ではなく、御自分の財布で考えて、投資して更新した後の将来推計では、加入者が減らないとしても毎年 17 万円の利益しかでない。貯金はほとんどできない状況になる。その状況で投資する額が適当か検討をお願いします。

(委員) 放送のみとなると加入者数は激減し、赤字となり、積立金を食いつぶすことになると思う。

(委員) 結論は出てるのではないか。

(会長) 更新しないで今の状態を続けていくことは可能なのか。

(事務局) 更新せず機械が壊れるまで使うというのは可能であるが、A 社の場合は来年でないとも更新できない。現状のままでも 3 年間位で赤字になってしまうので、今ある積立金を

有効活用する点も考える必要がある。壊れるまでやっていくという選択肢もあるが、加入者が貯めたお金なのでただ減らしていくのもどうなのか検討いただきたい。

(委員) 有線は雨が降ると音がなくなり、直してもすぐダメになってしまった。機械が壊れるまで使うといっても、ある程度見切りをつけて違う方法に投資した方が良いのではないか。

(委員) 壊れるまで使うのではなく、設備の更新をした方がいいのなら、積立金があるので有線設備を更新して続けていくというのも一つの選択肢であると思う。

(委員) 有線があるのは良いことと思っているが、将来的になくなるのであれば防災無線にしても良いのでは。いろいろな放送がなくなるのは淋しいが、何が一番必要なのか考えると平等性が必要であり、切り替えることも大事なのではないか。

(委員) 加入者が減少しているということは有線が必要ないという人がいるということ。防災無線に切り替えても良いと思う。

(会長) 委員の意見を聴いて、防災無線に切り替えた方が良いのではないかという意見が多いと感じた。有線はお知らせやおくやみ放送等あり、なくなれば淋しいと思うが、更新してこのまま維持できるのか考えれば見切りを付けることも必要であると思う。

(事務局) 廃止となれば周知期間が1~2年以上は必要になる。

(事務局) 防災無線は市全体で考えることであって、有線を廃止したからといってすぐに防災無線になるかというのは別の話である。現在市全体ではメールでの情報発信が中心であり、東御市のFM放送を使った発信もしている。

有線のために積み立ててきた積立金を、現在加入率が50%を下回っている状況の中で更新にお金を使っていいのか、更新せずに将来の地域のために新たな基金として積み立てておくのも一つの選択肢であるので、検討していただきたい。

(会長) すぐに結論を出すのは難しいので、次回12月の審議会でも方向性を決めていくことでよろしいか。

(事務局) 武石の無線の件ですが、元々武石はオフトークというNTTを使った放送のみを行っていたが、NTTがオフトークを止めてなくなってしまった。放送がなくなってしまい何か必要という意見が地域協議会で出され、新たに無線での情報システムを構築したが、費用のすべてに武石村時代から元々持っていた基金を使って構築した。

有線の積立金を将来の真田地域のために残すことは可能である。

(2) その他

(事務局) 次回の審議会は、12月開催の予定です。

5 その他

委員、事務局 特になし

6 閉会

